

平成29年度 児童クラブ利用者募集

市内の小学校に在学する児童のうち、保護者が就労などのため昼間家庭にいない児童を保育します。申込期間、保育日、定員等詳しくは各児童クラブまでお問い合わせください。

申込方法 各児童クラブに備付けの申込書に必要事項を記入し、就労証明書とあわせてお申込みください。
申込書等は子育て応援サイト「つぼみねっと」からもダウンロードできます。
保育料 月額1,500円（おやつ代別途）

申込・問合せ先

地区	児童クラブ名	実施場所	小学校区	問合せ先	申込期限
美 祢	伊佐中央幼稚園 児童クラブ	伊佐中央幼稚園	大嶺小学校	[☎0837(52)0544]	2月28日☎
	美祢幼稚園児童クラブ	美祢幼稚園		[☎0837(52)0480]	1月31日☎
	吉則児童クラブ	児童センター美祢		[☎0837(54)1488]	1月31日☎
	城原児童クラブ	四郎ヶ原集会所	城原小学校	[☎080(2898)5379]	2月28日☎
	伊佐児童クラブ	伊佐小学校敷地内	伊佐小学校	[☎0837(52)2341]	2月28日☎
	於福児童クラブ	於福公民館	於福小学校	[☎0837(56)1273]	2月28日☎
	豊田前地区児童クラブ	豊田前公民館	豊田前小学校	[☎0837(57)0260] (豊田前保育園)	2月28日☎
	厚保児童クラブ	厚保小学校敷地内	厚保小学校	[☎0837(58)0056]	2月28日☎
	宇部総合支援学校 美祢分教室児童クラブ	宇部総合支援学校 美祢分教室	—	[☎0837(52)5228] (地域福祉課)	2月28日☎
美 東	赤郷児童クラブ	赤郷公民館	赤郷小学校	[☎08396(2)0304]	2月28日☎
	美東児童クラブ	美東保健福祉センター	大田小学校	[☎08396(2)5005] (美東総合支所総合窓口課)	2月28日☎
	綾木児童クラブ	綾木小学校敷地内	綾木小学校	[☎08396(2)0745]	2月28日☎
	真長田児童クラブ	真長田定住センター	淳美小学校	[☎080(8241)7211]	2月28日☎
秋 芳	嘉万児童クラブ	嘉万児童館	嘉万小学校 ・別府小学校	[☎0837(65)2167]	2月28日☎
	秋吉児童クラブ	秋吉保育園隣	秋吉小学校	[☎0837(62)1905] (秋芳総合支所総合窓口課)	2月28日☎

●新規開設予定

地区	児童クラブ名	実施場所	小学校区	問合せ先	申込期限
美 祢	麦川児童クラブ	選定中	麦川小学校	[☎0837(52)5228] (地域福祉課)	2月28日☎

※伊佐中央幼稚園児童クラブは、学校終了後に大嶺小学校から児童クラブまでバス輸送を行います。

※児童クラブによって申込期限が異なります。定員に達しましたら選考で入会を調整する場合があります。

※申込期限を過ぎる場合は事前にお問い合わせ下さい。

移動市長室(1月予定) 市長が地域に出向き、市民の皆さんの意見を直接お聞きします。

美祢市役所	1月23日☎ 13時～14時	美祢産業技術センター	1月27日☎ 10時30分～11時30分
美東総合支所	1月26日☎ 10時30分～11時30分	赤郷公民館	1月31日☎ 10時30分～11時30分
秋芳総合支所	1月30日☎ 10時30分～11時30分	岩永公民館	1月31日☎ 13時30分～14時30分

※先着順に対応させていただきます。また、多数の面会希望があった場合、1人(1組)あたり15分程度とさせていただきますことをご了承ください。

※1月は回数が少なくなっていますのでご注意ください。

各地区の公民館などへは順番に出向きます。

市役所・総合支所から遠い地域にお住いの市民の皆さん、ぜひこの機会をご利用ください。

問合せ先 秘書課 [☎0837(52)5250]

()内は県下総数

データで 見る 美祢市

まちのうごき(平成28年12月1日)

人口	25,636人	前月比	▲55人
男	11,991人	前月比	▲32人
女	13,645人	前月比	▲23人
世帯数	11,299帯	前月比	▲22世帯

	人身事故			物損事故
	件数	死者	傷者	
11月中	7(490)	0(6)	8(598)	55(3,307)
累計	51(4,966)	1(58)	60(6,163)	677(36,280)
昨年対比	▲6(▲303)	1(5)	▲8(▲426)	84(11)



病院だより75

新年のごあいさつ



美祢市病院事業管理者
高橋睦夫

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災における津波と福島第一原子力発電所事故による被害の記憶が覚めやらぬうちに、昨年は、4月に熊本地震が発生し、震災関連死を含めると約100名の方が亡くなられ、甚大な被害をもたらしました。我が国は、地震大国ですので、何とか事前に大地震を予測出来なかったものでしょうか。

昨年度の喜ばしいニュースとしては、大隅良典氏が「ノーベル生理学」を受賞したことです。受賞理由は、「オートファジーの仕組みの解明」で、オートファジーとは、不必要になった細胞内の構造物を再利用する仕組みのことで、大隅氏はその機能を分子レベルで初めて解明したことによるそうです。この研究の進展により、神経変性疾患、癌、加齢に伴う病気などの治療への応用が期待されます。

さて、昨年も触れましたが、医療現場では、団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる2025年問題が懸案となっています。その理由は、後期高齢者人口の増加により医療費を含めた社会保障費が高騰し続けるためです。この高齢者の人口増加は、東京や大阪などの大都市圏で特に著しく、高齢者の介護をする人手不足も問題となっています。美祢市では、高齢者人口の増加はさほどではありませんが、相対的に若い人が少なく、高齢化率は年々上昇し、介護をする人も次第に高齢になります。そのため、介護を必要とする人の地域全体での支援が欠かせないものとなってまいります。

美祢市立病院及び美祢市立美東病院に関しましては、平成27年3月に、総務省より「新公立病院改革ガイドライン」が提示され、病院事業を設置している美祢市も「新公立病院改革プラン」を策定することとされました。このガイドラインでは、各地の医療需要を踏まえた上で、2025年のあるべき医療提供体制を示す地域医療構想と並行して実現されるべきものとされています。この方針に基づき、美祢市における現在及び将来の医療需要、美祢市立2病院の現状、両病院の公立病院としての役割、安定的にその役割を果たすための問題点を抽出し、解決に向けた具体的な道筋等を策定するものです。

本年の2月ごろに、このプランに対しての市民の皆様のご意見をパブリックコメントとしてお聞きする予定にしていますので、忌憚のないご意見やご指摘をお願いいたします。

現在、美祢市立2病院とも常勤医師が不足しています。市民の皆様が安心して暮らせる医療環境を作るためには、まず、医師や看護師を含めた医療スタッフの適正な人員配置が不可欠と考えています。また、高齢化社会では、退院後の在宅での生活においては、介護や身の回りのお世話を必要とする人のため、地域全体での支援が欠かせないものとなってまいります。我が国は、平均寿命が世界一の国ですが、人が健康で暮らせる健康寿命とは10年近い隔たりがあります。今後は、健康寿命を延ばすことが大切で、日々の生活において、健康に気配りするようにしましょう。

以上、年頭にあたり、皆様のご協力をお願いするとともに、本年も宜しくお願い申し上げます。